

「第56回神無一族の氾濫」投稿作品募集

「第56回神無一族の氾濫」への参加を募ります。今回のお題は「〇〇だったら1手詰」です。

ある仮定の下では1手詰となるフェアリー作品をお寄せください。

〔例1〕普通の詰将棋だったら1手詰

白玉詰 2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王		王	一
						角			二
				香		覬			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

21角成 同龍 まで 2手

上は「普通の詰将棋だったら1手詰」の例です。普通詰将棋では「41角成 まで」の1手詰ですが、ルールが白玉詰なので角を逆側に成り、攻方玉の方を詰ませます。

これは「ルールが違っていれば」と仮定した例ですが、「局面が少し違っていれば」と仮定することも考えられます。

有名な例としては、加藤徹氏の「寿限無」があります。この作品は「12香が持駒だったら1手詰」ですが、その実現には19447手もの超長手数が必要とします。

〔例2〕12香が持駒だったら1手詰

加藤徹「寿限無」

ばか詰 19447手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

皇								覬	覬	一
	王	角		継				毎	香	二
	金	香				覬	覬			三
王		皇				糸		歩		四
	我	我	我		糸			歩		五
歩	我			糸				歩		六
		歩	歩		歩					七
	歩			歩						八
										九

持駒 なし

(詰将棋パラダイス,1976年4月,
原図は1975年9月,修正・改良図)

フェアリーに限らず、ある目標を達成するために手順を尽くすのは、詰将棋の醍醐味ですね。

これ以外にも、様々なタイプの仮定があると思います。自由な発想で「〇〇だったら」を想定し、仮定と実際の出題図で別の手順が正解となる作品をお寄せください。

ただし「〇〇だったら」の仮定の部分は、なるべく分かりやすくシンプルなものにしてください。

また、1題通常の協力詰（ばか詰）を募集します。こちらは必ずしもお題とは関係なくとも構いませんが、お題に合った作品を優先して採用したいと思います。

作品要件	「〇〇だったら1手詰」 (ある仮定の下では1手詰となるフェアリー作品)
募集締切	2022年4月17日(日)
募集作品数	4 + 1 (協力詰枠)
送り先	神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com) 上記宛先へ E-mail でお送りください。
備考	1人何作でも投稿可。 メールの件名に「作品投稿」の語を入れてください。 採否は4月24日までに通知します。